

中部山岳国立公園プロモーションビデオのストーリーラインとナレーション

導入 20"

公園の風景、およびまたはその他の一般的な場面の空撮

オープニングタイトル:

中部山岳国立公園

“日本アルプスの発祥地”

ナレーション: 北アルプスの中核であり、日本でのレクリエーションとしての登山の発祥地でもある中部山岳国立公園へようこそ。ここでは、豊かな歴史、そびえ立つ山々、手付かずの山間の湖と溪流、雪に覆われた谷、そして温泉郷の地です。年間を通して人々が訪れ、素晴らしい自然と文化の魅力を楽しんでいます。

上高地の場面（字幕付き） 25"

上高地

穂高連峰

アルプスの登山道のネットワーク

ナレーション: 上高地は中部山岳国立公園で最も有名な景勝地です。初心者にも優しい登山道が緑豊かな森の中を通っており、大正池の水面には壮大な穂高連峰の山々の景色が映し出されます。上高地はこの国立公園の3,000メートル級の山の多くへの玄関口でもあり、ハイカーと登山者がここに集まって、雲にむかって山を登りはじめます。

穂高連峰の場面（字幕付き） 25"

連峰のパノラマの映像

播隆とウェストン

山小屋

ナレーション:穂高連峰は、日本にある 3,000 メートル級の山の半分を擁しています。その中で最も象徴的なのは、山頂が鋭く尖っているためしばしば日本のマッターホルンとも称される槍ヶ岳です。日本アルプスにおける登山の歴史は、山を神聖なものとして信仰していた修行僧たちが登ったことから始まり、19 世紀にヨーロッパ登山家たちによって一般に広まって、今日の多くの近代登山者たちとともに発展し続けています。

乗鞍岳の場面（字幕付き） 25”

乗鞍岳

乗鞍スカイラインとエコーライン

ライチョウ

ナレーション: 乗鞍岳は巨大な火山で、3,026 メートルの高さにも関わらず、比較的登るのが容易であることで知られています。日本で一番標高の高い道路を通過して、カバの森を抜け、森林限界のはるか先にあるバス停までバスとタクシーでも山を上ることができます。運がよければ山のマスコットとして愛されている高山の鳥、ライチョウの姿を見ることができるかもしれません。

乗鞍高原の場面（字幕付き） 25”

Mt. 乗鞍スノーリゾート

水芭蕉

善五郎の滝（冬）

ナレーション: 乗鞍高原は乗鞍岳のふもとの広大な台地で、自然の美しさと年間を通してスキー、スノーシュー、登山、サイクリングなどのアウトドアスポーツが楽しめることで知られています。また、夏の花畑と、冬の間巨大な氷のかたまりになる滝でも有名です。

奥飛騨温泉郷の場面（字幕付き） 25”

(離れた場所から撮影した温泉街)

露天温泉

新穂高ロープウェイからの景色

ナレーション: 中部山岳国立公園を探索するのに良い拠点は、さまざまな温泉の風呂を備えた五つ居心地良い温泉街、奥飛騨温泉郷です。付近にある新穂高ロープウェイは、標高 2,000 メートル以上の場所にある展望台まで急勾配で登ります。展望台からは中部山岳国立公園の最も高い山々の壮大なパノラマビューが望めます。

白骨温泉の場面（字幕付き） 25”

(温泉街の空撮など)

白骨温泉

癒しの鉱泉

地元の伝統的な料理

ナレーション: 白骨温泉の由緒ある温泉街は、国立公園の森林に覆われた谷の奥深くにある、穏やかな人里離れた保養地です。日帰り客も立ち寄って入浴することができますが、宿泊客は、癒しの鉱泉の湯から地元の名産品を使った手の込んだ食事まで、日本の旅館の伝統的なおもてなしを存分に受けることができます。

クロージング 10"

ナレーション: 日本の登山の発祥地、中部山岳国立公園の素晴らしい自然を体験してください。

エンドタイトル

中部山岳国立公園

日本アルプスの発祥地